平成25年	F度事務事業評	
事系	§事業名	[7000](国保)国民健康保険支所事務
	<u>,,,,</u> 算科目	1款 1項 1目
	での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実~やすらぎとぬくもりのまちづくり~ 保健・医療の充実
所管	課情報	担当課: 中山地域事務所 電話番号(内線): 967-1111(121)
記入	者情報	所属長: 大本 孝志 担当責任者: 久保田 勝広
事業	美の性格 あんしゅう	法定事務
実	施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】設定なし
事業	美の対象	主に中山地域管内に住所を置く、国民健康保険資格者(後期高齢者含む)
根拠法令等	国民健康保険法	
事業の目的		窓口という立地条件の地域事務所で国民健康保険(後期高齢者医療含む)に関する各種に実施することにより、地域住民の満足度、利便性の向上を図る。
事業の内容	国民健康保険(後期 費等の支給申請関係)	高齢者医療含む)の相談業務・各種申請書の受付等(資格異動・被保険者証交付・療養 ()
改善策の 具体的 取り組み (当初)	本庁担当課と連絡調整	整を図り事務執行において迅速的確に行われた。
改善策の 具体的 取り組み		

		事業費	及び財源内訳		
J	頁 目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
	直接事業費	0	0	0	0
事業費	人件費	1,759	1,138	569	1,138
	合計	0	1,138	569	1,138
	人工数	0.22	0.14	0.07	0.14
人件費	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
内訳	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,759	1,138	569	1,138
	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
財源内訳	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,759	1,138	569	1,138

	事業活	動の実績(活動	カ指標)		
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
国民健康保険資格異動関係	件	149	150	91	189
被保険者証の交付関係	件	127	105	97	131
療養費等の支給申請関係	件	397	380	164	439
その他申請関係等	件	136	140	77	192

		向こう5年	間の直接事業	費の推移		
<b>年</b> 使	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
十尺	0	0	0	0	0	0

		成果指標		
成果指標	本業務は、国民健康保険 申請や請求、届出等の総作		<b>貝する窓口での相談や事務</b> 奴	<u>D</u> 理等といった内容であり、
指標設定の 考え方	業務の性格が住民の申請 困難であるが、参考として?		€生することから、目標となる 記載した。	成果(活動)指標の設定が
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	62000%	77500%	100000%	0
実績	80900%	95100%	0	0

		自己評価		
		目的の妥当性	4	
	妥当性	市民ニーズへの対応	3	В
		市の関与の妥当性	3	
自己評価		事業の効果	3	
(担当責任者)	有効性	成果向上の可能性	3	В
(延二貝は石)		施策への貢献度	4	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	С
		受益者負担の適正	3	
	受付件数・申請件数等	は、増加しているが限られた職員数であるため、今後も 処理するとともに事業推進をを図る。	住民サービス	の低下にな
	りないより迅速的唯に	処理 9 るとともに 争未推進をを凶る。		
-m ex -m -4.				
課題認識				

		一次評価		
		目的の妥当性	4	
妥当性	市民ニーズへの対応	3	В	
		市の関与の妥当性	4	
一次評価		事業の効果	3	
(所属長)	有効性	成果向上の可能性	3	С
(別馬女)		施策への貢献度	3	
		手段の最適性	3	
	効率性	コスト効率	3	С
		受益者負担の適正	3	

国民健康保険支所業務は、各種申請書の受付など住民の生活に直結する事務となっており、介護保険業務とも関連があり、利用者の利便性を図るうえで必要な業務である。本庁所管課と連携を密にし窓口業務の効率化を図るとともに、グループ制の活用により職員の専門的知識のレベルアップも併せて図る必要がある。

## 課題認識

	二次評価
二次評価	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
(所属部長)	
意見、課題	

	行政評価委員会の答申
外部評価 (行政評価委員会)	

	経営者会議の最終判断
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	